



(写真提供：一般社団法人 茨城県観光物産協会)

## 今月の1枚

# 筑西あけの ひまわりフェスティバルと筑波山

筑波山を望む筑西市宮山地区4.4ヘクタールの田畑に、八重ひまわりと黄花コスモスなど約100万本が咲き誇る「あけのひまわりフェスティバル」。

毎年、関東一円から大勢の人が訪れる、茨城県筑西市の夏の人気イベント。

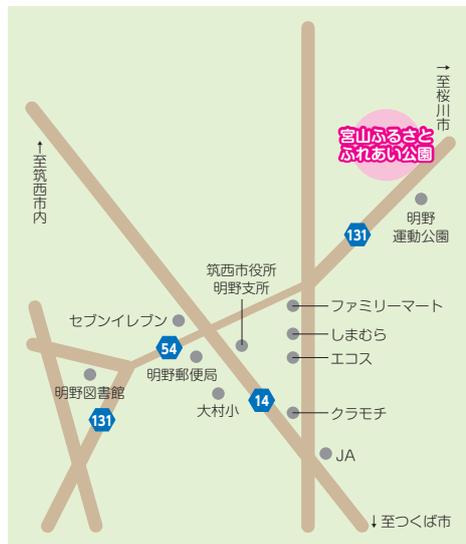
平成2年、合併前の旧明野町で、大規模な花畑を推進していた「花とやすらぎの里づくり推進協議会」が、ひまわりが水田農業確立対策の転作作物として転作奨励金に認められたことをきっかけに、転作田を利用して開催された、「花とやすらぎの里 ひまわりフェスティバル」（高津地区）がその始まり。

当時は、一般的に知られている一重の「大輪ひまわり」を栽培していたが、平成5年から、背丈が低く風に強く、他に栽培されているところが少ない「八重ひまわり（正式名称：東北八重ひまわり）」を栽培し、現在に至っている。

平成14年から、現在地である「明野ひまわりの里」（宮山地区）に会場を移し、平成17年の合併（下館市・真壁郡関城町・明野町・協和町）により筑西市が誕生してからも、「筑西あけの ひまわりフェスティバル」として毎年実施されている。フェスティバル開催中は、展望台が設置され、ひまわりの里が一望できる。

### 関連情報

会場に隣接する「宮山ふるさとふれあい公園」には、農産物直売所や石臼でひいた地元産常陸秋蕎麦が楽しめる蕎麦処が人気。



- ◆JR水戸線「下館駅」より車で約20分
- ◆常磐道「土浦北IC」より車で約40分、「谷和原IC」より車で約60分
- ◆北関東道「桜川筑西IC」より車で約30分